

にわらぜん

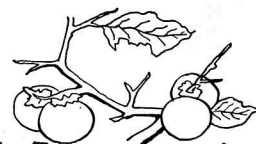
No.176

発行 富山県入善町役場
編集発行責任者 西尾三郎
印刷 株式会社東光印刷
昭和46年11月30日発行

たたえられる

奉仕の精神

ボーイスカウトが舟川を清掃



11・しもづき

人口 28,289
(男13,301 女14,988)

世帯数 6,624

11月1日現在住民登録

○：十一月十四日、青く晴れあがった空と紅葉が美しい舟見山。それとは対照的に汚れきったモデル河川「舟川」。心ない人たちの手で汚れたこの舟川をきれいにようと、ボーイスカウト入善第二団が川掃除を行いました。

○：午前八時十五分。入江博之リーダーら五十二名は、慣れない手つきでスコップをもち、カンヅメの空かんやゴミをどんどんモッコでかつぎ上げる。顔を真赤にし、ぶらつきながら道路にかつきあげる姿が実にほえましい。この日は、十五名の舟見青年団員の応援もありましたが、奉仕の精神で黙々と作業を続ける若い力は、住みよい町づくりの小さな礎になるものと確信しました。



秋季全国火災予防運動

十一月二十六日～十二月二日

今日はひとの身、明日はわが身

交通事故の絶滅を

今や交通事故は、公害と並ぶ大きな社会問題に発展しており、ますます、とりわけわたしたちの町では死亡事故が多く、県下警察署のなかでも入善署は、富山署に次いで二番目という不名誉な数字を記録しています。

▼県全体 (11月29日現在)

発生件数 五、七四一件

死者 一九七名

負傷者 七、六八二名

▼入善署管内

発生件数 二〇二件

死者 二五名

負傷者 二六二名

▼富山署管内

発生件数 一、六二一件

死者 三三名

負傷者 二、〇九六名

こう比較してみますと、発生件数の割に死亡者が多いことがわかります。これらの死亡事故の原因は、高速無謀運転、酒酔い運転、無理な追い越し、車間距離の不適当などとなっておりますが、安全意識の欠けた歩行者優先、車優先という間違った考えも、事故発生の大きな原因となっております。

伸びゆく町「入善」が、交通事故多発の町「入善」に塗りかえられないよう、正しいルールを守って、交通事故を絶滅したいものです。十一月一日から始まった「ストップ二〇七作戦」は、かなりの効果をあげて今日三十日で終了ですが、引き続き十二月十六日から一月十五日までは「年末年始飲酒運転絶滅運動」が展開されます。県民総ぐるみで「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を実践にうつし、悲惨な飲酒運転事故を追放しましょう。

年末に多い

踏切事故

県下では、今年一月から十月



までに九十件の踏切事故が発生しておりますが、そのほとんどが警報機が鳴っているのを無視して渡ったり、一時停止をして左右の安全を確かめなかったために起きています。

これからは天候も悪くなり、加えて年末のあわただしさとともに踏切事故が多くなりますので、次のことを必ず守り、踏切事故をなくしたいものです。

○踏切手前での一時停止と進行列車の確認。

○警報機が完全に鳴り止むまで踏切内に入らない。

○踏切内で自動車エンジン止めた場合は、踏切にある非常ボタンを強く押し、列車を止めの手配をとる。



柚木町長も街頭指導に……

無料出張上映します

—— 伸びゆく入善町 ——
(町勢現況編カラースライド)

20名以上が集まる町内会や各種団体の会合等へは、機械操作技師付きで出張上映します。ただし昼間の映写は、暗幕装置がないと不調です。スライド観賞を希望される方は、役場の総務課広報担当の係へ電話で(内線51番)申込み下さい。 ※上映時間30分

年賀状は 早めに

▼年賀状には必ず郵便番号を

先日各家や事業所に配布しました「郵便番号簿」をみて、あて名、差出先とも正しくはっきり書いて下さい。郵便番号を書きますと、都道府県名を省略できます。

▼早めにポストへ

年賀状は町内、県内の他市町



11/18~30日 公給納収証完全発行期間

村、県外に区分し、それぞれ年賀と書いた紙をつけ十二月二十二日までに、また小包郵便物は十二月十五日までに早めに出して下さい。なお郵便局の窓口には、年賀用図案入りのスタンプを用意しておりますので、ぜひご利用下さい。

▼郵便送達日数を公表

十月二十五日に公表しました郵便の送達日数表は、列車の時刻表に相当する郵便の時刻表のことで、〇時ごろまでに差し出された〇〇市あての郵便物は、特別の事情がない限り、〇日配達されます」ということが表示されております。差し出した日は含んでおりませんが、くわしくは郵便局の窓口でおたずね下さい。

(入善・舟見郵便局)

ご存知ですか

農業者年金制度 (1)

することもできます。

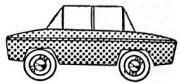
農業にたずさわる者の長年の夢であった「農業者年金事業」は、今年一月から実施に移されており、わたしたちの町では、約一千五百名の加入資格のある方のうち、一千百余名の加入をみました。

農業者年金の加入者は、一月七百五十円の割で三か月ごとに、農協各支所で納めておられること、思いますが、またこの制度や将来の給付額をご存知ない方も多いようです。そこで今月は、給付額についてのべてみましょう。

なお、年金の給付を受けるための最低資格期間は二十年となっておりますが、発足時の特例により、最低五年で給付を受け

給付額 (1か月当り) 単位円

| 加入期間 | 5年 | 20年 | 25年 | 30年 |
|------------------|-------|--------|--------|--------|
| 納付の種類 | | | | |
| 60~64歳まで 経営移譲 | 8,000 | 16,000 | 20,000 | 24,000 |
| 65歳以降の給付 | | | | |
| 経営移譲 | 800 | 1,600 | 2,000 | 2,400 |
| 農業者年金定額 | 1,000 | 4,000 | 5,000 | 6,000 |
| 国民年金定額 | 6,000 | 9,600 | 11,200 | 12,800 |
| 所得比例 | 900 | 3,600 | 4,500 | 5,400 |
| 計 | 8,700 | 18,800 | 22,700 | 26,600 |



自動車重量税

〔国税〕

十二月一日から課税

経済の急速な発展に伴い、自動車の数も近年急激に増加していますが、その結果、道路混雑や交通事故などが大きな社会問題となっています。

ある学者の計算によると二〇〇万円の車一台に対して国、県市町村は、あわせて一、二〇〇万円のお金を、何らかの形で投資しているということです。

そこで、道路などの社会資本をより充実するための財源として、あらたに自動車重量税が、十二月一日から課せられることになりました。

○どんな自動車にかかるとか

- (1)車検を受ける自動車
- (2)車輛番号の指定をうける軽自動車

(1)・(2)の自動車に対して、その重量に応じて税金がかかる。○どんな自動車にかからないか

- (1)大型特殊自動車(非課税)
- (2)一度車輛番号の指定を受け

(家屋) 一斉調査にご協力下さい

昭和四十八年一月一日現在で全国的に土地、家屋の評価替えが行なわれます。土地家屋の価格は物価の変動に伴って毎年上がってまいりますので、これを修正するため三年に一度、全国的な評価替えを行なうことになっており、昭和四十八年が、ちょうどこの年にあたるわけです。このため、町の税務課では、ことしと来年の二か年にわたって全町一万四千棟の家屋を一斉に調査させていただくことになりました。

調査の日割などは、地区ごと、に回覧板等でお知らせ致します

た軽自動車の中古車で、その旨の証明書を付けて、新たに届出をするもの(非課税)

- (3)原動機付自転車・小型特殊自動車(課税対象外)
- だれがどのように納めるか
- (1)納税義務者：使用者
- (2)納付先：車検時(届出時)に陸運事務所へ
- 税率は自動車の区分や重量

(-)車検の有効期間が二年のもの

主な自動車の税額

| 〔乗用自動車〕 | | (単位円) | |
|---------|-------|--------|--------|
| セドリック | カスラム | 15,000 | |
| トヨペット | クラウン | | |
| ルノー | チェン | | |
| スカイライン | 1800 | | |
| フローリア | 1800 | | |
| ブルーバード | 1600 | | |
| ベレット | 1600 | | |
| ユローナ | 1500 | | |
| 本田 | クーパー | | 10,000 |
| 本 | 1300 | | |
| ギャラン | カスタム | | |
| カローラ | クペ | | |
| ファミリア | レス | | |
| スバル | F F I | | |
| スバル | ニ | | |
| パブリカ | 1000 | | |
| 〔貨物自動車〕 | | | |
| ふ | 7.5 | 37,500 | |
| ボク | 3.5 | 17,500 | |
| ダク | 3 | 15,000 | |
| ダク | 2.5 | 12,500 | |
| クリ | 2 | 10,000 | |
| ハイ | 1 | 7,500 | |
| ダット | 1 | 7,500 | |
| ブルー | 0.5 | 5,000 | |
| ファミ | 0.4 | 5,000 | |
| 〔バス〕 | | | |
| レイ | 29人 | 15,000 | |
| エ | 26人 | 10,000 | |
| ユ | 22人 | 10,000 | |
| ダ | 15人 | 7,500 | |
| ハ | 12人 | 5,000 | |

- A 乗用自動車(二輪車除外)
- (i) 車輛重量が〇・五t以下
- 五、〇〇〇円
- (ii) 車輛重量が〇・五t超
- 〇・五tまたはその端数ごとに
- 五、〇〇〇円
- B 乗用自動車以外の自動車(二輪車除外)
- (i) 車輛総重量が一t以下
- 二、五〇〇円
- (ii) 車輛総重量が一t超
- 一tまたはその端数ごとに
- 二、五〇〇円
- C 二輪の小型自動車
- (i) 車輛総重量が一t以下
- 五、〇〇〇円
- (ii) 車輛総重量が一t超
- 一tまたはその端数ごとに
- 五、〇〇〇円
- D 二輪の軽自動車
- (i) 車輛総重量が一t以下
- 四、〇〇〇円
- (ii) 車輛総重量が一t超
- 四、〇〇〇円

が、十一月中旬に一部地区で実施しています。

公平な課税のために、家屋の立入り調査にご協力をお願い致します。

優良青年などを表彰

社会福祉に功労のあった個人や団体、そして他の模範となる優良青年などの表彰式を、去る十一月四日役場大会議室で行ない、次の方に表彰状、感謝状を授与しました。(敬称省略)

- 町長感謝状(町立保育所備品寄附者)
- 西部、芦崎、飯野、新屋、青木、舟見各保育所四十五年度母の会
- 社会福祉協議会長表彰(社会福祉功労者)
- 柳沢周造 荻田清松 森田清作 上野広幸 栄沢幸吉 高見六一 田原三郎 橋本亀吉 上島松栄 広田升平 浦滝友一 盛山茂 大田ひろ 谷口清規

- 社会福祉協議会長感謝状(善意銀行へ多額寄附者)
- 山本正勝 清田清一 ポーイ スカウト入善第一団 下飯野 ちよ 木田喜作 大蔵与平 東洋紡労組入善支部 寺崎平
- (優良青年)
- 竹内正義 西尾憲一 伊林正明
- 金し勲章を受けた方に
- 銀杯が贈られます

昭和十五年四月二十九日付けで金し勲章を受けた方(昭和二十八年四月一日に日本の国籍を有していた者)には特別の措置として、内閣総理大臣から銀杯と書状が贈られることになりました。該当者は(遺族の方も)御沙汰書、あるいは功記の写しを添えて、早めに申告して下さい。なお書類の作成や細部については、軍恩連盟下新川支部長 音頭友吉さん(入善六区、電話 七二局〇二四三)へ問い合わせ下さい。

今月の納税

国民健康保険税

(第三期分) 納期限は十一月三十日

保険料払込証明書の請求には

証書などの持参を!!

所得税の年末調整の時期が近づきましたが、郵便局の簡易保険に加入の方で、一契約年間九千円(月額七百五十円)以上の保険料を納められた方は、払込証明書を添付することにより、所得額より控除を受けることができます。(年間九千円未満は証明書不要) 年末は郵便局の窓口がたいへん混雑いたしますので、待合時間をより短くするために、次のように協力をお願いします。

▼窓口で証明書の交付を請求する場合
保険料領収帳または保険証書(婦人会で団体払込みしてい

る方は団体保険カード)を持参下さい。
▼電話で請求する場合
一か月分の保険料と契約者名を申し出下さい。

新型保険を発売

郵政省では、今年九月から次の保険を発売しました。

◎傷害特約付学資保険——子どもの教育資金づくりに好都合で、契約者が途中重度の身体障害者になったときでも、学資金は保障されます(保険料の払込みが不要となります)し、子どもに

万一のことがあった場合には保険金が支払われます。また、傷害特約つきですから交通事故、風水害など不慮の災害で死亡したときには三倍保障となり、身体に障害を生じたときは傷害保険金、傷害治療のため入院したときは入院保険金が支払われます。

◎傷害特約付長生きの保険(特別終身)——従来の終身保険は、被保険者の死亡により保険金を支払うものでありましたが、今年九月から生存中に一部保険金の支払いをすることになりました。加入年齢が五十歳

六十五歳で、保険料の払込期間が十年(以後払込不要)の場合は、十年経過後は保険金の二割が、二十年経過後では三割が支払われます。

このように郵便局の保険は、将来の生活を二重、三重に保障するばかりではなく、これらの保険料は「簡保資金」として、学校教育施設の充実、都市計画道路の整備、公営住宅の建設などに広く使われています。

旅客を乗せる船は

海技免状が必要

近年のレジャーブームを反映して漁ろう、狩猟、またはこれらの観覧のため、人を乗船させるいわゆる遊漁船およびモーターボートなどが急増しておりますが、総トン数五トン未満の船舶については、旅客運送の用に供する場合に限って、「船舶職員法」が適用されることになっています。

このため、船舶職員法の適用を受ける船舶にあっては、海技免状をもつ者が乗り組まねばなりません。そこでこの「旅客」の意義を十分に認識いただき、海難事故防止に万全を期されるよう、関係者の協力をお願いします。

●旅客とは……船舶を運航するため、その船舶に乗り組むことを必要とする最少限の者(最少運航要員)以外の者を含みます。

したがって
▽操舵および機関の操作が同一場所可能な船舶(モーターボート等)では通常一名が最少運航要員となります。

▽操舵および機関の操作が同一場所でない船舶では、通常二名が最少運航要員。

▽帆により運航する船舶(ヨット等)については、必要最少限の操船要員となり、それ以外の者は「旅客」とみなされます。また水上スキー等により曳航されている者も、通常は要員以外の者となります。



砂浜の見えだした横山海岸

一部で砂浜化

離岸堤の効果?



東部保育所(児童遊園地)に

お手まきの杉を植樹



植樹する杉原助役

七年に一度の開帳

——長蛇の列の十三寺——

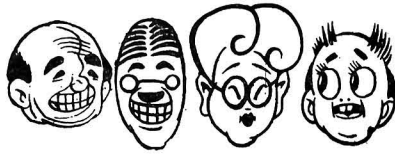


ご開帳風景……10月24日 十三寺で

家庭裁判所たより

印鑑は大切に

印鑑、つまり判は、社会生活を営むうえでなくてはならないものです。家や土地の買売または貸借、金銭の貸借、委任などの契約など、人の権利義務や法律上の地位に重大な影響を与える事からについては、多くの場合、後日のために契約書、委任状、領収書などの書類を作成しこれに関係者が判を押します。また出生届、婚姻届などの戸籍上の届出や不動産の登記申請にも、判を押した書類を必要とします。



このように書類に判を押すのは、その判の持主がまちがいにその書類を作ったこと、あるいは、書類に書かれた内容を承認したことを示すためのもので、本来自印鑑は持主が自分で所持し、押印してよい書類かどうか自ら確かめたうえで押すべきものです。それにもかかわらず、印鑑が粗末に取り扱われていることが少なくありません。判を気軽に

他人に預けたり、あるいは、白紙委任状に判だけ押して、他人に渡したりすることが世間でしばしば行なわれています。その結果、預けた判や白紙委任状を悪用され、思いがけない内容の書類を作られてしまう例は珍しくありません。そうなるからその書類は自分に無断で作られたのだと主張しても、その言い分をとおすことは相当むずかしい、たとえその点を立証することができても、その書類が事情を知らない第三者の手に渡っているようなときは、がんらい自分の判の取扱い方に不注意な点があったため起こったことですから、結局その書類に書いてある言柄について、法律上の責任を負わなければならない場合もあります。

ですから、印鑑を他人に預けたりすることはできるだけ避けて、委任状などは、どういうことを委任するのかをはっきり書いたうえで相手に渡すようにするのが望ましく、また、自分で判を押す場合、たとえば保証人になるようなときも、最悪の場合、どれだけの金額の支払義務を負うことになるかなど、判を押す書類の内容をよく理解してからにしないと、後で思いがけ

ない重い責任を負わされ、後悔することになります。印鑑の取扱いを慎重にすることは、無用の紛争が起こるのを防ぐためにも、めいめいの人が法律の十分な保護を受けて、心配のない生活を送るためにも大事なことです。

十二月の当直医

- 5日 山本医院 ㊟〇三二二
- 12日 島田医院 ㊟一〇八〇
- 19日 川瀬医院 ㊟〇〇六九
- 26日 永井医院 ㊟一六〇四

人権を尊重し

明るい社会

世界人権宣言が国際連合において採択されて、二十三年を迎えようとしております。この世界人権宣言は、人間が生れながらにして持っている権利や自由について、すべての国において最も尊重されなければならないことを表明したものです。

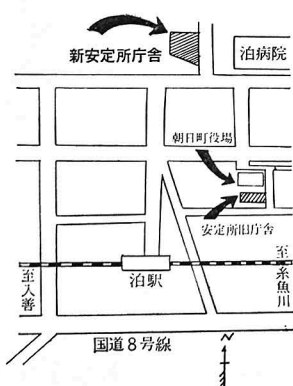
国際連合では、この世界人権宣言の採択を記念して、採択日にあたる十二月十日を人権デーと定めておりますが、わが国においても、人権デーの十二月十日を最終日とする一週間を「人権週間」と定め、法務省ならびに全国人権擁護委員連合会主催のもとに、全国各地で国民の人権意識をたかめる行事を行っております。

本年は、最近の核家族化の進展に伴い、老人が社会および家庭から疎外されがちなる傾向にあって、深刻な社会問題となっている現状に鑑み、老人の人権が尊重され、老人が幸福な生活を送ることができるようになるため、一人一人が老人問題に対して深い理解と強力な支持を欠かすことはできません。いずれの人もやがては老人になりますから人権週間を機に再確認し、温かい社会をつくるよう心掛けましょう。

わたしたちの町の人権擁護委員は本多清隆さん(上飯野)と野寺林造さん(舟見)です。

魚津公共職業安定所 朝日分室が移転

12月10日から新庁舎に移ります。



| 現金の部 (10月16日~11月11日) | |
|----------------------|----------------------|
| 預託(寄附) | 内容 |
| 入膳 山本正勝 | 5,000円 社会事業資金として毎月 |
| 入膳 柴田忠義 | 1,500円 タバコをやめて毎月 |
| 入善 高校生物クラブ | 5,840円 文化祭の売上金を寄附 |
| 道市 西村常作 | 2,000円 民生委員推せん手当てを寄附 |
| 住民課 窓口係 | 500円 拾得金を寄附 |
| 入善 高校三年生一同 | 21,155円 文化祭の売上金を寄附 |
| 化学クラブ | 1,405円 |
| 合計 7件 | 37,400円 |

秋季募金に協力

ありがとうございました

| | |
|----------|------------|
| 共同募金 | 772,790円 |
| 身体障害者募金 | 61,680円 |
| 歳末たすけあい金 | 215,880円 |
| 社会福祉事業資金 | 370,210円 |
| 合計 | 1,420,560円 |

明るい社会の建設に使わせていただきます
 >>> 入善町社会福祉協議会 <<<

より多くの年金を受けたい方は

所得比例保険料として毎月三百五十円を、通常の保険料四百五十円に加えて掛けましょう。

二十五年掛け金を例にしますと、通常の定額部分が九万六千円、所得比例部分で五万四千円となり、合せて年間十五万円の年金を受けけることができます。

人権法律相談

(無料) 十二月十日 午前十時~午後三時

入善町中央公民館



あたたかいご芳志を感謝いたします

入善町善意銀行(敬称省略)

百周年を迎えた

戸籍制度

戸籍制度は非常に重要な制度であり、戸籍事務は本米国の固有の事務です。しかし、国民の便宜をはかるために、市区町村長が委任を受けて戸籍事務管理者となり、その役場で事務を取り扱っています。さて今回は、戸籍の概要をのべてみましょう。

▼戸籍

戸籍制度の中心をなすものが戸籍であり、これには出生から死亡に至るまでの身分に関する事項が記載されており、戸籍は本籍地の市区町村役場で夫婦(配偶者のない者はその者)およびこれと氏を同じくする子ごとに編製され、これを綴って戸籍簿として保管されておりま

す。記載し、本籍と筆頭者の氏名で戸籍を特定しています。また、筆頭者が死亡等により戸籍から除かれても、筆頭者としてその者の氏名が使用され、筆頭者欄の氏名はそのままにしてあります。

▼入籍、除籍、復籍

入籍とは、子の出生の場合のように、それまでその戸籍に記載されていなかった者があらたにその戸籍に記載されるようになることをいいます。

除籍とは、死亡の場合などのように、その戸籍から記載が除かれることをいいます。また、他の戸籍に入籍する場合には、出生の場合以外は必ず従前の戸籍から除籍されることになりま



ひとつの戸籍にはひと組の夫婦とその子どもが書かれています

復籍とは入籍の一種であり、もとの戸籍に戻るために特に復籍と呼ばれています。

▼分籍

氏の変動を伴わず婚姻にもよ

らないで、従前の戸籍から除籍して新戸籍を編製することをいい、戸籍の筆頭者およびその配偶者以外の者は、成年に達した後はいつでも分籍することはできます。

▼転籍、就籍

転籍とは、本籍の所在を変更することをいいます。本籍が住所から遠く離れた所であり、住所を移動する見込みのない人は、本籍を住所に移せば、戸籍の謄抄本を取り寄せる場合など極めて便利です。就籍とは、日本人でありながら戸籍のない者について、新しく戸籍を作ることとをいいます。(次号では戸籍の届出についてのべましょう)



おめでとう (出生)

| 住所 | 名前 | 保護者名 | 続柄 |
|-----|-------|------|----|
| 林尻 | 酒井奈緒美 | 雄治 | 2女 |
| 小摺戸 | 杉本雅行 | 忠一 | 2男 |
| 下飯野 | 志摩まさ江 | 明雄 | 2女 |
| 入膳 | 宝泉竜也 | 晴夫 | 長男 |
| 入膳 | 竹内慎一 | 省吾 | 2男 |
| 桐山新 | 前田佳子 | 勝義 | 長女 |
| 東狐 | 鍵田武博 | 克己 | 長男 |
| 入膳 | 福沢貴之 | 友之 | 長男 |
| 入膳 | 高島美果 | 稔 | 2女 |
| 小摺戸 | 寺林陽子 | 清 | 長女 |
| 青木 | 笹原 稔 | 紀雄 | 長男 |
| 芦崎 | 立塚和美 | 雄一 | 長女 |
| 八幡 | 尾山芳幸 | 喜芳 | 長男 |
| 入膳 | 田中真奈美 | 垂夫 | 長女 |
| 入膳 | 長井由美 | 杉男 | 2女 |
| 君島 | 室 直人 | 正道 | 2男 |

おくやみ (死亡)

| 住所 | 氏名 | 年齢 | 世帯主 |
|-----|--------|----|-----|
| 東狐 | 野坂 豊 | 78 | 民夫 |
| 桐山 | 野口勝次郎 | 72 | 昇 |
| 舟見 | 笹川 博 | 22 | 忠太郎 |
| 入膳 | 吉田 由松 | 55 | 本人 |
| 入膳 | 岩場 永喜 | 81 | 清吾 |
| 目川 | 杉澤 盛作 | 47 | 本人 |
| 芦崎 | 清田 清松 | 72 | 本人 |
| 芦崎 | 井田 良子 | 15 | 榮次郎 |
| 下山 | 袖野キクエ | 56 | 清次 |
| 東狐 | 廣田富貴子 | 1 | 幸吉 |
| 入膳 | 南保 音松 | 71 | 勝 |
| 芦崎 | 西島 清 | 54 | 本人 |
| 福島新 | 松島 壽博 | 21 | ふみ |
| 吉原 | 四十物平三郎 | 79 | 本人 |
| 横山 | 永山 みよ | 78 | 一郎 |
| 中澤 | 稲村繁次郎 | 83 | 本人 |
| 古黒部 | 山崎 やゑ | 74 | 周作 |

新着図書

| | |
|---------------------|--------|
| 植木全科 愛すること愛されること | 中村恒雄 |
| 世界名作の旅 | 朝日新聞社 |
| 油絵入門 | 造形社 |
| 水彩画入門 | 造形社 |
| 国のシンボル | 藤沢優 |
| 茶に生きる | 和木康光 |
| 情報人間の時代 | 菊地誠 |
| 歎異抄 | 野間宏 |
| 幸福の探求 | 岩崎建弥 |
| 未来の日本人 | 館 稔 |
| 白山のわらじ | 児童文化協会 |
| 趣味の家庭盆栽 | 三浦伊佐雄 |
| 漢誌鑑賞入門 | 高木正一 |
| 伝説とやま | 北日本放送 |
| 日本国勢図会 | 国勢社 |
| 初歩のアマチュア無線入門 | 新星出版 |
| 初歩のラジオ、テレビの組立方 | 新星出版 |
| 楽しい庭の作り方 | 平山勝蔵 |

泰平一家



成人おめでとう

来年の成人式該当者は、昭和二十六年一月十六日から昭和二十七年一月十五日までに生まれた方です。この名簿に記載もれの方、その後移動された方、氏名に誤りのある方は、至急入善町教育委員会へ申し出下さい。

380名

(5) 広報にゅうせん

北川和子 野沢幸吉 松平浅子

泉利信 上嶋淑子 上島忠義
やい子 前田あき子

池田康彦 高森芳雄 永田喜代
美 森優美 板川敏彦 草切洋子
宝田学 中瀬恵子 中瀬博志
中瀬英夫 目沢晃 目沢恵美子
愛場富美子 橋元明美 本多秀司
本多京子 村田茂 元島淑子
愛場喜美子 金沢順一
金沢幸男 中川春雄 西村実
広田美智子 福島紀代子
松島京子 宮本紀代美 浜岸智恵子
柏原美智子 柏原良英 船平保子
松波喜代子 吉田高司
柏原隆志 水野多津子 渡辺正司
中田勉 柳田充 石川やい子
前田あき子

野田由美子
へ上原地区へ
近藤益男 清水美江子 田中彰
五十里典子 沢田美和子 竹内吉秀
丸山清秀 田中久雄 五十里純子
室宗高 中道利明 西田徳雄
松倉允俊 矢野忠司 川畑敏子
桐沢恒男 富山則子 長谷洋子
酒井まり子 石坂たみ子
渡辺久和 東原美恵子

野田由美子
へ上原地区へ
近藤益男 清水美江子 田中彰
五十里典子 沢田美和子 竹内吉秀
丸山清秀 田中久雄 五十里純子
室宗高 中道利明 西田徳雄
松倉允俊 矢野忠司 川畑敏子
桐沢恒男 富山則子 長谷洋子
酒井まり子 石坂たみ子 渡辺久和
東原美恵子

野田由美子
へ上原地区へ
近藤益男 清水美江子 田中彰
五十里典子 沢田美和子 竹内吉秀
丸山清秀 田中久雄 五十里純子
室宗高 中道利明 西田徳雄
松倉允俊 矢野忠司 川畑敏子
桐沢恒男 富山則子 長谷洋子
酒井まり子 石坂たみ子 渡辺久和
東原美恵子

野田由美子
へ上原地区へ
近藤益男 清水美江子 田中彰
五十里典子 沢田美和子 竹内吉秀
丸山清秀 田中久雄 五十里純子
室宗高 中道利明 西田徳雄
松倉允俊 矢野忠司 川畑敏子
桐沢恒男 富山則子 長谷洋子
酒井まり子 石坂たみ子 渡辺久和
東原美恵子

秋 吉野靖彦 稲村照子 坪野昭子
大林順子 大林慎二 鬼

小堀優子 関哲男 龍山真澄
新田利秋 新田敏男 新田佳子
林博子 米田洋子 若狭和子
石山康雄 高嶋裕美子 盛田博秋
吉野靖彦 稲村照子 坪野昭子
大林順子 大林慎二 鬼

伊林大津治 飯野昭夫 石川敏雄
寺林昭美 寺林邦雄 佐竹篤子
寺林幸子 細田則子 柳澤朋子
佐竹文子 永井昭子 舟根恵美子
城崎夫美子 澤飯真由美
福沢千恵子 福沢邦子 野坂正子

伊林大津治 飯野昭夫 石川敏雄
寺林昭美 寺林邦雄 佐竹篤子
寺林幸子 細田則子 柳澤朋子
佐竹文子 永井昭子 舟根恵美子
城崎夫美子 澤飯真由美
福沢千恵子 福沢邦子 野坂正子

伊林大津治 飯野昭夫 石川敏雄
寺林昭美 寺林邦雄 佐竹篤子
寺林幸子 細田則子 柳澤朋子
佐竹文子 永井昭子 舟根恵美子
城崎夫美子 澤飯真由美
福沢千恵子 福沢邦子 野坂正子

伊林大津治 飯野昭夫 石川敏雄
寺林昭美 寺林邦雄 佐竹篤子
寺林幸子 細田則子 柳澤朋子
佐竹文子 永井昭子 舟根恵美子
城崎夫美子 澤飯真由美
福沢千恵子 福沢邦子 野坂正子

伊林大津治 飯野昭夫 石川敏雄
寺林昭美 寺林邦雄 佐竹篤子
寺林幸子 細田則子 柳澤朋子
佐竹文子 永井昭子 舟根恵美子
城崎夫美子 澤飯真由美
福沢千恵子 福沢邦子 野坂正子

川啓一

尾田喜則 柿山和江 紺田とみ子
浜田良正 横田昌美 尾山善二
君島由貴子 永山清作 米田明夫
亀田総吉郎 吉田力 金山伸
金山博則 黒部敬子 舟渡守
池原智子 池原良孝 草野礼子
山崎芳政 谷実 廣

大田晴美 富山のり子 前田美喜子
松田龍徳 米田九仁夫 青木秋光
青木信良 島恭子 田又均
林徹 鍋嶋太郎

大田晴美 富山のり子 前田美喜子
松田龍徳 米田九仁夫 青木秋光
青木信良 島恭子 田又均
林徹 鍋嶋太郎

大田晴美 富山のり子 前田美喜子
松田龍徳 米田九仁夫 青木秋光
青木信良 島恭子 田又均
林徹 鍋嶋太郎

大田晴美 富山のり子 前田美喜子
松田龍徳 米田九仁夫 青木秋光
青木信良 島恭子 田又均
林徹 鍋嶋太郎

大田晴美 富山のり子 前田美喜子
松田龍徳 米田九仁夫 青木秋光
青木信良 島恭子 田又均
林徹 鍋嶋太郎

い合せ下さい。

▽勤務内容 技術指導を受け、夜間は大学、高校への通学可能。職種、勤務時間は本人の希望により決定。

▽待遇 国家公務員として身分が保障され、特別職の待遇を受けます。初任給は実賃約五五、〇〇〇円、賞与は年間(三回)四・八か月分を支給。

▽採用試験の期日 二月二十五日まで毎日受付

▽募集期間 一月四日(二月二十五日)(高校生は常時)

▽提出先 入善町役場内選挙管理委員会
※優秀作品は成人式場で発表、応募者全員に粗品を進呈いたします

▽提出先 入善町役場内選挙管理委員会
※優秀作品は成人式場で発表、応募者全員に粗品を進呈いたします

原美紀子 中易次郎松 中易武司
中易敏宣 野寺和子 長谷比美子
長谷恵子 長谷京子 吉沢慎太郎
腰本俊夫 腰本哲二
中山隆信 中山泰一 中山芳幸
村上栄子 窪田美喜子 小林和彦
永井陸子

秋田正夫 徳光孝夫 西尾美知子
入江須美子 高邑英市 梨木真佐美
平沢茂 古川八重子 山本千津子
植木紀子 大菅勝治 野島嗣哉
米沢富子 若林孝治
内島朝良 樽井茂 中谷康子
山本しげ子 魚津靖彦 小林宗之
木下恭子 小森裕小森義明
舟見敏子 南保義治 新田愛子
羽黒栄子

須沢幸子 杉田美紀子 鍋谷和夫
西島彰男 松田喜幸 中田正義
西嶋紀代子 西嶋健一 舟川直三
扇原敬三 鍋谷登美子 上島良子
上島繁 中田美喜子 上島誠希夫
川成進 上島進二
国枝正昭 長島朝子 大田瑞洋
大田陽子 大田博久

江畑なをみ 大蔵富美子 大割春美
大割富美子 川島るみ子 清水富美子
舟本優子 稲村優子 田嶋文夫
梨木敦 宮沢晃 百石敏明
舟本隆博 長原美智代 麻地和子
梅津憲治

新有権者の感想文を募集
入善町選挙管理委員会
○内容と標題 民主政治、とくに選挙に対する新有権者としての自覚を内容とし、標題は自由
○原稿の長さ 四百字詰原稿用紙五枚以内
○応募資格 昭和二十六年一月十六日から同二十七年一月十五日までの間に生まれた者
○しめきり 一月九日(当日の消印あるものは有効)

安藤かつえ 荒田美智子 井口春代
内山千枝子 川村恵美子 上村たき
工藤たつ子 佐々木梅子 佐々木きみ子
斉藤ノブ子 岡喜美子 尾田敏美
白川弓子 嶋崎和子 志摩麗子
善万静子 清沢豊子 田中美郷 竹内安子
田中美紀子 高橋ふみ子 田沢敏子
高田知恵子 田中京子
高根和枝 高田ヨシ子 飛田栄子
那須和子 坂西多恵子
古川真弓 不和野和子 藤田美笑子
本間みわ 平崎美笑子 村上セキ子
森内恵子 矢久保正子 吉崎桂子

自衛官募集

防衛庁では陸、海自衛官を募集しています。

▽募集期間 一月四日(二月二十五日)(高校生は常時)

▽採用試験の期日 二月二十五日まで毎日受付

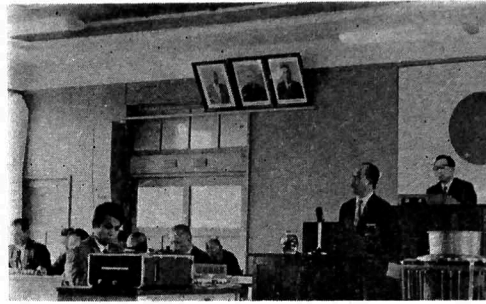
▽待遇 国家公務員として身分が保障され、特別職の待遇を受けます。初任給は実賃約五五、〇〇〇円、賞与は年間(三回)四・八か月分を支給。

▽勤務内容 技術指導を受け、夜間は大学、高校への通学可能。職種、勤務時間は本人の希望により決定。

くわしくは役場の総務課へ問い合わせ下さい。

第11回町議会臨時会 (2月15日)

14代議長に上野幸一氏



庁舎建設など

大事業をいくつも

四十六年度
一般会計予算 十一億円でスタート

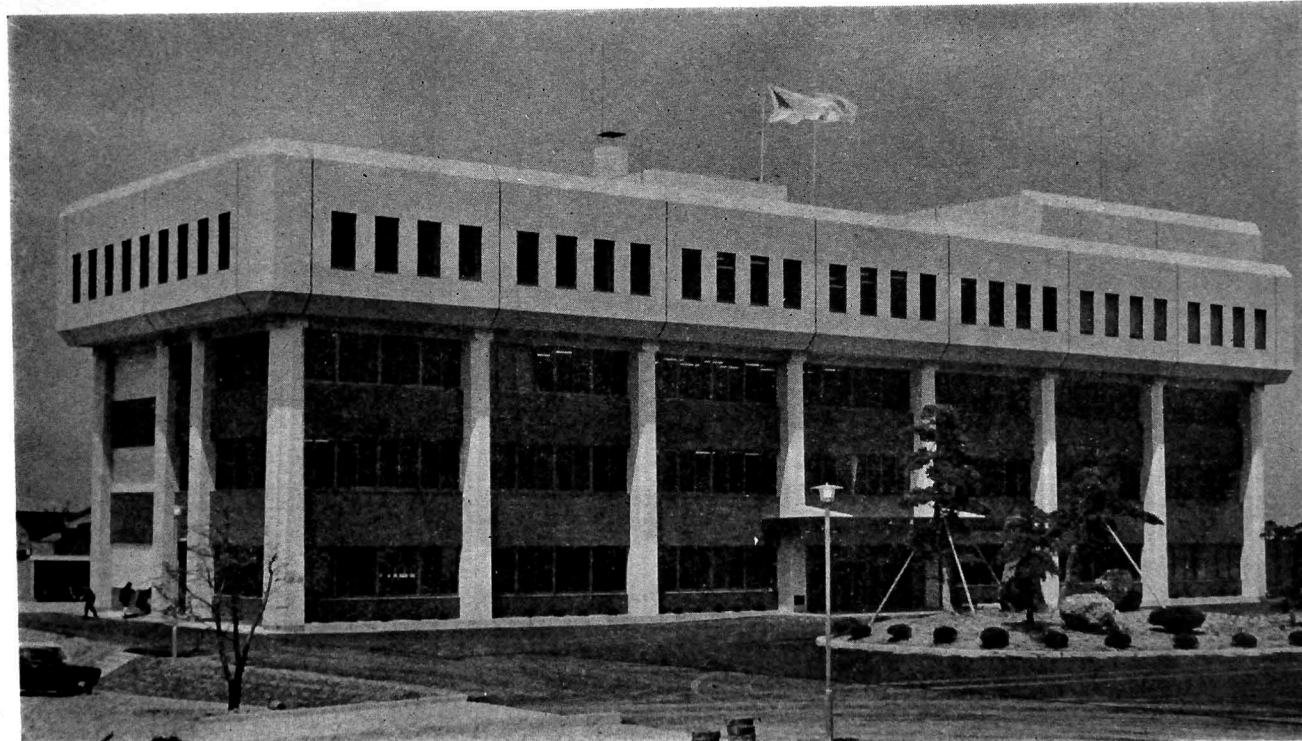
新和工業から

本部へ消防車

栲山・舟見の消防車更新



雪のちらつくなかでハダカ放水する
舟見消防分団 (三月四日)



五月四日から新庁舎で業務を開始